

### 【出願資格・要件について】

①2018 年度春学期までの通算 GPA が希望する留学先の GPA 要件を満たしている状態です。2018 年度秋学期の成績が下がってしまい、志望留学先大学の要件を下回った場合でも留学できますか？

⇒できません。失格となります。

②語学要件が全ての語学テストに関して NA(Not applicable/available)と記載されている場合は、語学力不問ということでしょうか？

⇒交換留学は、留学先の大学で正規科目を履修することを目的としています。出願に当たっての語学スコアは必須条件ではないものの、現地での生活や授業に当たって問題のないレベルの語学力が求められます。留学の手続きは原則英語で行なうため、責任もって手続きを行なえるだけの語学力が必要です。英語で履修する場合の目安は TOEFL ITP450～500 点以上、韓国語で履修する場合の目安は TOPIK3 級・ハングル検定 3 級以上、中国語の場合は HSK3 級・TOCFL3 級以上です。遅くとも留学出発までに達成できるよう努めることを前提に出願してください。なお、留学先で語学科目のみを履修し、学部または研究科の開講する正規科目の単位修得ができなかった場合(例えば大学附属の語学学校の科目しか履修・修得しなかった場合など)、交換留学奨学金の受給資格を失うため東洋大学からの奨学金は返還していただきます。

### 【出願手続・選考について】

①出願後に語学スコアを出しなおすことはできますか？

⇒できません。出願時に提出されたスコアで選考を行います。

②出願後に志望留学先や志望順位、留学期間を変更することはできますか？

⇒出願期間内であれば可能です。出願フォームを新規に提出し、国際教育センター(mlryugaku@toyo.jp)に学籍番号と氏名を明記の上「出願内容変更のため、提出しなおしました」と連絡してください。出願期間終了後の変更は受け付けられません。

③UMAP への交換留学と協定校への交換留学を併願することはできますか？

⇒可能です。志望大学を選択する項目で「UMAP」を選択し、UMAP 加盟校の中での志望大学記入欄に志望する留学先を 5 つ記入してください。

④2次選考はどの言語で行われますか？

⇒出願者によるプレゼンテーション: 留学先での学修言語または英語

面接官による質疑応答: 留学先での学修言語および英語、または日本語

※言語別の比率についてはお答えできません。

⑤2次選考ではどのような質問をされますか？どのような準備をしたらいいでしょうか？

⇒選考内容に関することはお答えできません。

⑥2 次選考で使用するプレゼンテーション資料②履修意欲及び計画性(留学先で学修を希望する分野・履修を希望する科目およびその理由)について、出願の時点ではどの学部にも所属できるのか、どういった授業が履修できるのかわからないと思うのですが、何を書くべきでしょうか？

⇒ファクトシートの「履修可能な科目リスト」「履修できない学問分野」「(非英語圏のみ)英語での開講科目リスト」を参照し、現時点での希望分野・科目名に基づいて学修計画を記入してください。記載されていない場合は、留学先大学ウェブサイト上で「Course Catalogue」「Course List」(非英語圏で英語で履修する際は「English Taught Courses」等)でサイト内検索し、各自で確認してください。学修計画作成の際は、下記の【留学先での学修について】も参考にしてください。

#### 【留学先での学修について】

①留学先ではどのようなことが学べますか？

⇒それぞれの大学のウェブサイトを確認してください。また、ファクトシートの「開講科目一覧」リンク先と「交換留学生の履修が制限されている学部・コース」欄も参考にしてください。各大学が強みとしている学問分野は、ファクトシートの「オススメの学問分野」に記載されています。

②留学先ではどの学部にも所属することになりますか？

⇒自分が履修したい科目を一番多く開講している学部を希望所属学部として申告することになります。東洋大学での専攻と大きく異なる分野・科目を履修する場合は単位認定が難しくなる可能性があります。予め教務課で確認してください。

③非英語圏(アジア・ヨーロッパ)で英語で学修することを希望しています。英語での開講科目はどうやって確認したらいいでしょうか？

⇒募集要項別冊のファクトシート「英語での開講科目」欄に記載されているリンクから確認してください(または、留学希望先大学のウェブサイト内で「Courses taught in English」などで検索)。ただし、記載されている科目はその時点での開講科目であり、次年度同じ科目が開講されるとは限りません。学修希望分野を絞り込みすぎず、履修したいと思える科目が多い留学先を選択してください。

④履修を考えている科目が単位認定されるか予め確認したい。何単位までどの科目として認定されますか？

⇒単位認定については所属学部教務課に確認してください。

#### 【その他】

①留学にかかる費用が知りたいです。

⇒航空券、ビザ申請費用、交通費、住居費、食費、その他個人的な支出等の費用がかかります。金額は留学先や個人によって異なりますが、1年間の交換留学(授業料免除)の場合、北米地域への留学では約160万円、ヨーロッパは約140万円、アジアは約110万円、オセアニアは約180万円費用がかかります(2016年度に1年間留学した学生のアンケートを基に算出\*) 交換留学決定後の手続で必要となる滞在資金証明等については、募集要項「6.出願に当たっての注意事項⑤」も参考にしてください。

⇒詳細については、「留学レポート」にアクセスし、希望している大学に留学中の先輩のレポートを確認してみてください。(該当項目「支出内訳」)もし、同じ大学への留学者がいない場合、同じ国や地域の別大学の支出状況を参考にしてみてください。

#### 留学レポートへのアクセス方法

- (1) <https://ryugaku.toyo.ac.jp/ryugaku/> へアクセス
- (2) ログイン画面の赤字記載の案内の通り、ID・パスワードを入力
- (3) 地図上の旗をクリック、もしくは画面左側で条件を設定して検索
- (4) 過去の参加者の学修内容や費用、アドバイスなどを確認

\*留学の費用：航空券、住居費（光熱費等含む）、食費、通信費、保険料、教材費、その他生活費（交際費含む）など。このほか、東洋大学の授業料は留学中も通常通り納入していただく必要があります。